



海の生き物を観察 高校生公開臨海講座

8月3日(木)から6日(日)の4日間、「高校生公開臨海講座」が町自然環境活用センターで開催され、県内外から14名の高校生が参加しました。

参加者は、志津川湾の生き物の多様性や自然の仕組みについて熱心に学び、また、交流を深めました。



県タクシー協会気仙沼支部 車いすを寄贈

8月4日(金)、宮城県タクシー協会気仙沼支部の小野寺修三支部長と菅原塚夫副支部長が公立志津川病院を訪れ、車いすが公立志津川病院に寄贈されました。

これは、8月5日「タクシーの日」にちなんで地域貢献事業として続けられているもので、今回で3台目になりました。



短い夏の終わりに

8月16日(水)、先祖の霊を供養する流灯会が八幡川で行われ、川岸には、約1,600個の流された灯ろうを見ようと、多くの人たちが集まりました。

先祖の御霊を乗せた色とりどりの灯ろうが、静かに漂い、見送る人達に、短い夏の終わりを告げていました。



佐々木祐輔さんは「私たちの将来のために知識など習得し、豊かな自然など大好きなこの町を守り立てていきたい。」と、佐藤知美さんは「常識ある行動をとり、後輩に恥ずかしくない大人になりたい。今は仙台で勤めています、いつか帰り、親孝行したい。」と、成人の抱負を述べました。



式典後、東北放送アナウンサーの藤沢智子さんによる記念講演が行われました。



志高音楽部が豪雨被災地に義援金

8月17日(木)、志津川高等学校音楽部9人が役場を訪れ、甲信越や九州地方に大きな被害をもたらした7月豪雨災害の被災者支援に役立ててほしいと、8月12日(土)に志津川公民館で開催したチャリティーコンサートで協力を呼びかけ集めた義援金18,813円が届けられました。

この義援金は、日本赤十字社県支部を通じて被災地へ送られました。